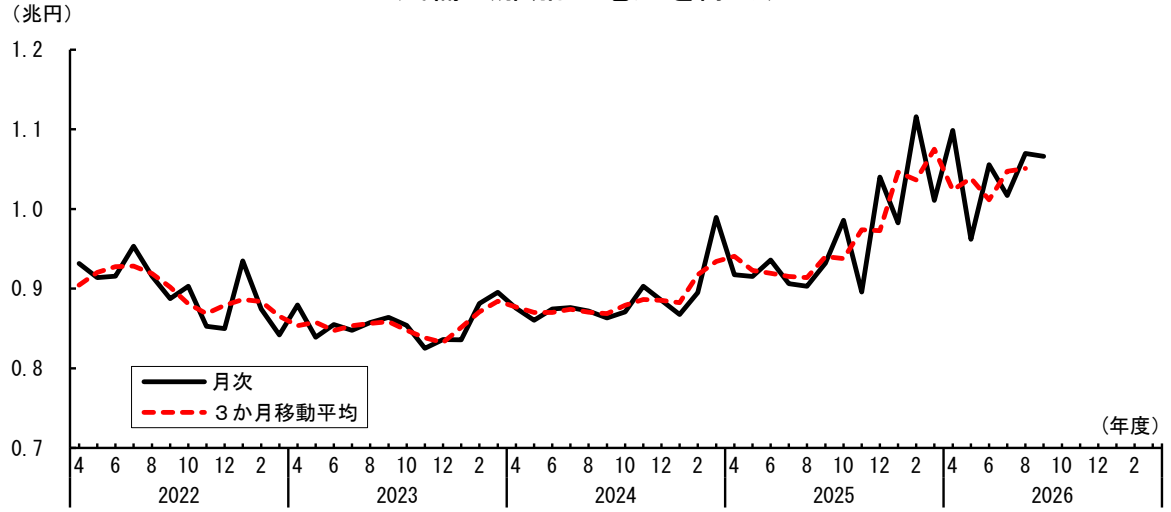
令和8(2026)年11月19日
内閣府経済社会総合研究所
景気統計部

機械受注統計調査（令和8（2026）年9月実績及び令和8（2026）年10～12月見通し）結果の概要

－機械受注は、持ち直しの動きがみられる－
（基調判断据置き）

○ 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、9月は前月と比較して0.3%減少し、2か月ぶりの減少となった。
○ 一方、3か月移動平均の前月比は2か月連続でプラス（前月比0.3%増）となっており、「持ち直しの動きがみられる」との基調に変化はみられないことから、基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に据置きとした。

民需（船舶・電力を除く）



対 前 月（期）比

（単位：%）

需要者＼期・月	2025年（令和7年）10－12月実績	2026年（令和8年）1－3月実績	4－6月実績	7－9月実績	10－12月見通し	2026年（令和8年）6月実績	7月実績	8月実績	9月実績
受注総額	10.2	10.3	11.3	△4.8	8.8	0.4	△5.5	△3.7	0.0
民需	6.2	2.6	14.6	△9.8	4.8	△26.0	1.5	△4.2	5.1
〃（船舶・電力を除く）	6.6	6.4	0.2	1.2	4.3	9.7	△3.7	5.2	△0.3
製造業	△0.8	10.0	△1.3	8.0	2.6	19.9	△1.0	1.6	3.9
非製造業（除船・電）	11.3	6.2	△2.3	△0.8	5.2	4.5	△2.6	2.9	1.1
官公需	57.7	△21.3	△17.8	△8.9	1.6	10.5	△9.2	△6.1	△1.3
外需	3.6	31.0	10.4	△1.6	15.2	19.9	△8.2	△7.7	6.2
代理店	2.6	4.8	6.7	1.3	10.7	7.2	1.3	△6.3	5.1
民需(船舶電力を除く)3か月移動平均	－	－	－	－	－	△2.6	3.6	0.3	－

（備考）1．季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2．△印は減少を示す。
3．見通しは2026年9月末時点の調査。